

第3回 日本高齢者運動連絡会 学習講座 「介護保険制度…これまでとこれから」

～制度の変質につながる10年目の見直しと闘いのために～

介護保険大改悪の危機にさらされています。高齢期運動として、改悪阻止に全力をあげて立ちむかうため、介護保険のこれまでとこれからについて、総合的に学習します。

日 時：2011年1月15日（土）午後1時～4時
会 場：東京都生協連会館 会議室（中野区中央 5-41-18）
講 師：篠崎 次男氏（日本高齢者運動連絡会顧問）
参加費：1000円（会場費・資料代として）

- 1 介護保険制度創設にいたる経過とこの制度にこめられた厚労省の狙いを整理します。
 - 第2 臨時の社会保障制度の見直しで介護保険はどのように位置づけられたのかの検討
 - 平成に入って出された「高齢者保険福祉 10 力年戦略」や「高齢社会大綱」などで、介護保険はどのように扱われたかを検討します。
- 2 介護保険制度にこめられた政府の狙いを整理します。
 - 介護保険制度の設計図。厚生労働省高齢者自立支援研究会の「新しい高齢者の自立支援システムのあり方」の検討をとおして厚労省の意図を総合的に検討します。
 - 介護保険制度創設のための2つの準備作業について検討します。
 - 介護保険制度創設は社会福祉制度の変質をとまいませんでした。それをリードした社会福祉基礎構造改革について検討
 - 介護保険が導入したサービスの標準化のための介護認定制度づくりに寄与した特養ホームにおける寮母労働の分析と介護認定基準づくりの検討
- 3 介護保険5年目の見直し作業について
 - 予防重視型・地域密着型保険への転換の実態を検討します。
- 4 10年目の見直し作業について
 - 社会保障審議会介護保険部会関連資料の検討
 - 新政権の介護保険部会に示した検討課題について
 - 介護保険部会の「論点整理」
 - 提示をうけた厚労省の見直し案の検討。
- 5 介護給付適正化運動の狙いと本質について検討します。
- 6 今後の運動のあり方について私案を提示し、みなさんと意見交換します。

当日使用する10点ほどの文書は当日配布します。

介護認定関係については篠崎「『新要介護認定・給付適正化』への取り組み」という小冊子を使用します。これも当日配布します。

【主催】 日本高齢者運動連絡会 東京都中野区中央 5-48-5 シンボルビル中野 504
問合せ・申込み先・電話・FAX 03-3384-6654（会場略図・参照）

<次回予告：2月 or 3月の日程調整中>

「健康維持・疾病自己責任の徹底化と、医療・福祉の後退」